



トマト編



病害虫注意報 2021年9月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

マルハナバチ導入前のポイント

マルハナバチ導入前は影響日数の長い農薬を使用し、
マルハナバチ導入後に影響日数の短い農薬を使えるようにしましょう。

葉かび・すすかび病対策



葉かび病・すすかび病は予防散布が重要です。
どちらの病気も潜伏期間が約2週間あり、
症状が出ていなくても、感染している
場合があります。症状が出てからでは圃場
全体が感染していることもあります。
予防を心掛けてください。

葉かび病、すすかび病は共に多湿条件下で発病しやすい特徴があります。換気が不十分な場所や摘葉の枚数などを再度確認し、適切な対策を打ちましょう！

コナジラミ類対策



社内薬剤感受性試験の結果の良かった剤
(成虫防除剤、3県8圃場調査結果より)

- ・アルバリン顆粒水溶剤
- ・アグリメック
- ・ベストガード水溶剤
- ・アフーム乳剤
- ・トランスフォームフロアブル
- ・コルト顆粒水和剤

トマト黄化葉巻病はTYLCVというウイルスによる
病気で、タバココナジラミによって媒介されます。

今月のおすすめローテーション

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 マルハナバチ
9月 ①	コナジラミ類・アブラムシ類 ハダカニ類・オオハコガ ハシモンコトウ	ヨーバルフロアブル	2,500~5,000倍 (コナジラミ類は2,500倍)	前日	3回	14日
	コナジラミ類・カメムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	2,000~3,000倍 (カメムシ類は2,000倍)	前日	2回	14日以上
9月 ②	コナジラミ類・トマトヒゲダニ アザミウマ類・トマトハダカニ	アグリメック	500~1,000倍	前日	3回	7日
	コナジラミ類・アブラムシ類	コルト顆粒水和剤	4,000倍	前日	3回	7日
9月 ③	すすかび病・葉かび病 うどんこ病・菌核病 灰色かび病	予 アフェットフロアブル	2,000倍 (うどんこ病は2,000~4,000倍)	前日	3回	1日
	コナジラミ類・アザミウマ類 ハダカニ類 オオハコガ・ハシモンコトウ	ディアナSC	2,500~5,000倍 (コナジラミ類は2,500倍)	前日	2回	1~3日
9月 ④	すすかび病・葉かび病	予・治 トリフミン水和剤	3,000~5,000倍 (すすかび病は3,000倍)	前日	5回	1日
	コナジラミ類・アブラムシ類 トマトヒゲダニ	トランスフォームフロアブル	1,000~2,000倍 (アブラムシ類は2,000倍)	前日	2回	2~5日

高温対策に！ 効果は約1か月

すずみどり

香り成分で、葉焼けや
萎れ等の高温障害を予防！
更に光合成を向上
ハウス内に吊るすだけ
10a当たり10~20錠



白 酢

・発根を促進し、根張りが向上

POINT

育苗期・高温期の
施用がお勧め！

灌注時：100~300倍
散布時：300~1,000倍

※強酸性のため100倍以下にならないように注意



光合成能力UP！

ファイトマジック 1,000倍 葉面散布

キレートマグネシウム
+各種微量元素

★葉にテリ・ツヤ・厚みUP！
★日照不良時の代謝の向上！



肥料登録
生第87201号